

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

「困難を抱える女性のためのシェルターでの支援充実と防犯防災対策強化」事業

年齢で社会的支援制度からこぼれてしまう18歳以上の困窮する若者をサポートする

18歳で成人扱いとなることで得られる権利もあれば、逆に失ってしまう権利もあり、その一つが、児童福祉法や児童虐待防止法などの支援制度を受ける権利である。DV被害者に加え、若年層をはじめ社会的・経済的に困難を抱える女性全般と同伴児童を対象とした一時保護施設（シェルター）の運営を神奈川県を拠点に開始した。



アマヤドリが運営する施設



活動の様子

18歳で支援制度の枠外となってしまう若者が孤立や困窮で追いつめられる現状

一般社団法人「アマヤドリ」は2020年に設立され、主に18歳～29歳の孤立・困窮する若者を支援する活動を行っている。

2020年当時、高校の養護教諭をしていた同法人の代表理事のもとに、新型コロナ禍のなかで困窮する卒業生をはじめとする18歳以上の若年女性からの深刻な相談が急増した。相談を寄せた若者の多くは、家庭での虐待、経済的困窮、予期せぬ妊娠、精神疾患など、様々な困難を抱えていた。彼女たちをサポートするなかで気づかれたのは、18歳以上の若者を支援する制度の「空白」や「はざま」であった。

日本では、18歳までは児童福祉法や児童虐待防止法などに基づく支援の仕組みが存在しているが、18歳以上

になると、そうした支援制度の対象外となるのが原則である。しかし、18歳以上とはいえ、まだ学生であったり、社会への入り口に立ったばかりで、経済的にも不安定で、自立の準備段階にいるというのが現状である。そのなかには、何らかの事情で家庭を頼ることができなかつたり、家庭において何らかの虐待を受けたりしている人もいる。そのような若者の多くは、相談先や居場所を失い、精神的に窮迫しているケースが多い。

「アマヤドリ」では、こうした既存の社会支援制度の枠組みからこぼれたり、そのすき間で孤立・困窮している若者に支援を届けることを目的に、若者からの相談を受け、課題整理をサポートしたり、神奈川県の一部地域を対象に、行政や医療機関などへの付き添い支援などを実施するほか、神奈川県指定法人として居住支援を行ったり、女性専用シェアハウスを運営したりしている。

4世帯の受け入れ可能な一時保護施設で年間17名の利用者が安心安全に過ごす

同法人では、2023年度、POSCからの助成を活用してDV被害者に加え、若年層をはじめとする社会的・経済的に困難を抱える女性全般とその同伴児童を対象とした一時保護施設（シェルター）の運営をスタートした。シェルターは神奈川県内にあり、4世帯の受け入れが可能となった。

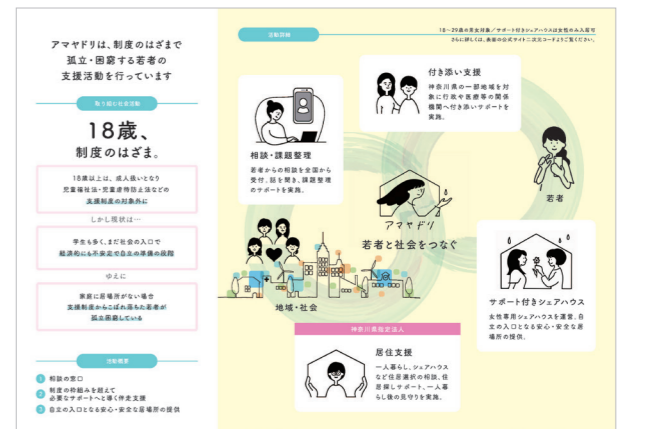
シェルターの利用者は1年間（2023年4月1日～2024年3月31日）で17名、同伴児童数は13名で、のべ入居日数は444日であった。入居者に対しては、ボランティアによる日々の健康観察や施設入所中の不安な気持ちなどの傾聴を行ったほか、ボランティアが付き添い、買いものや散歩へ出かけるなどした。また、同伴児童に対しては、年齢に応じた保育や学習支援を実施した。

シェルターの退所時には「安心して過ごすことができた」と、手紙などで感謝の気持ちを伝えてくださる方が多くいたが、見知らぬ環境の一時保護施設への入所という状況下で、大きな不安を抱えているであろう利用者が少しでも安心して生活できるよう、ボランティアやスタッフ一同が丁寧に接することを心がけた。同伴児童も入所当時は緊張した様子だったが、ボランティアとの遊びを通じ、次第に自己主張が増え、楽しそうに遊ぶ様子が見られるようになった。

従来のシェルターでは利用者の安全を守るという理由のもと、就労・就学ができず、外出や通信機器の使用などが禁じられるケースも見られるが、それがかえって施設利用に対する躊躇や保護の遅れの原因になることもある。同法人ではそうしたことに柔軟に対応することで利用者の安全を守るとともに、自己選択と自己決定が尊重される保護を実現していくことを目指している。



18歳～29歳の孤立・困窮する若者を支援する活動を行っている一般社団法人「アマヤドリ」のリーフレット



助成団体: 一般社団法人 アマヤドリ <https://www.amayadori-official.net/>

従来のDVシェルターの枠にとらわれない支援活動を実施

本助成のおかげで、社会活動で取り組んでいべき課題に取り組み利用者の方に安心して施設で過ごしていただくことができました。限られた活動資金では運営を行うことが困難でした。本助成により、充実した支援が実施できたことに関心感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

一般社団法人 アマヤドリ
代表理事 菊池 操さん